



フランクフルターホーフの象徴である4体の像。先の大戦でホテルは灰燼に帰したが、像を含むファサードは奇跡的に損傷を免れた



ホテル左側ウィングにある正面エントランス車寄せ



華麗なる白亜のレセプションルーム。右手はコンシェルジュデスク



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健剛代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。

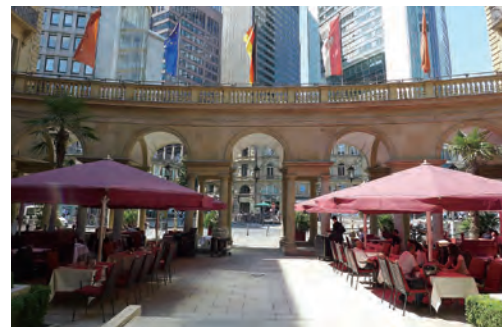
シュタイゲンベルガー フランクフルターホーフ Steigenberger Frankfurter Hof

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載

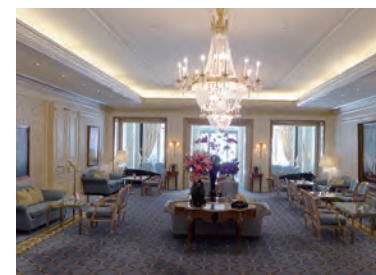
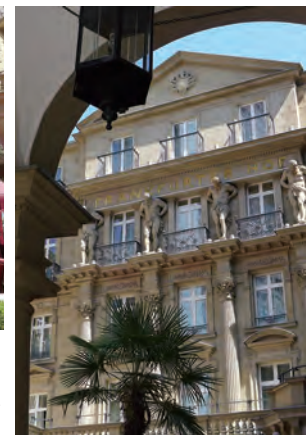


「Steigenberger Frankfurter Hof」の威風堂々とした正面ファサード。何本もの円柱に支えられたアーチ型のエントランスを中心に、左右にシンメトリックに広がる荘厳な外観

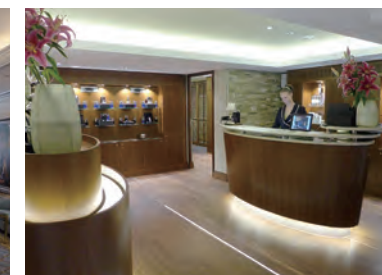


華やかなインナー・コートヤード。前面にはフランクフルトの金融街が広がる

アーチから望むホテル正面ファサード



インナー・コートヤードに続く気品あるロビーラウンジ



大規模なリノベーションを終え、新装なった「The SPA」のレセプション



パリにある小粋なビストロを彷彿させる「Café-Bar-Restaurant Oscar*s」



ゴージャスな大人の空間「The Autorenbar」のバー・ラウンジ



シンプル＆モダンな室内空間の客室「Deluxe Room」。約45㎡の余裕の広さを持ち、正面エントランス車寄せのちょうど真上に位置する



ライティングデスクからツインベッド方向を見る
ミシュラン1ツ星レストラン「Restaurant Francais」のクラシカルな店内

フランクフルト金融街の中心地、カイザー広場に建つ威風堂々とした建物に思わず目を奪われる。円柱に支えられたアーチ型のエントランスを中心に、左右にシンメトリックに広がる荘厳な外観だ。イタリアン・ルネッサンス様式のファサードを持ち、ドイツでも屈指の伝統と格式を誇る「Steigenberger Frankfurter Hof」の建物である。ホテルの歴史は古く、1876年に250の客室と20のバンケットルーム、800人を収容するダイニングホールなどを擁して華々しく開業した。フランクフルトで最初に電話を設備し、92年には最初に電気照明を導入するなど当時最先端を行くホテルであった。

創業以来、ホテルの経営は幾人かの手を経て来たが、その中には「世界のホテル王」セザール・リッツの名前も見受けられる。シュタイゲンベルガー・ホテルズの歴史は1930年に創業者のアルベルト・シュタイゲンベルガーがバーデン・バーデンの高級ホテル「Europaischer Hof」を買収した事に始まる。現在、「Steigenberger Hotel Group」は傘下に高級ホテル系「Steigenberger Hotels and Resorts」とビジネス系の「InterCityHotels」という2つのホテルブランドを所有している。

フランクフルターホーフはフランクフルトのランドマークホテルとして培われた歴史があり、館内はヨーロッパの伝統に彩られた豪華な内装でデザインされている。42のスイートを含む全303室のゲストルームを擁し、正面エントランス右手に店を構えるミシュラン1ツ星レストラン「Restaurant Francais」は市内でいちばんの格式を維持し評価が高い。反対側の左手にはオールデイダイニング「Café-Bar-Restaurant Oscar*s」がインナー・コートヤードまで席を設け夏場は終始賑わいを見せる。そのほか、重厚な雰囲気のあるメインバー「The Autorenbar」、エレガントな空間のシングルルーム「The Cigarrum」など施設は充実している。ウェルネス部門のスパ「The SPA」は2013年に大規模なリノベーションが終了し、面積1000㎡を誇る市内一の規模でゲストのあらゆるリクエストに答えている。

フランクフルターホーフは先の大戦で壊滅的損傷を受けたが、戦後見事に復興を成し遂げた。アルベルトの息子エゴン・シュタイゲンベルガーの世代になると彼の手腕も手伝い、1961年には西ドイツで最大規模のグランドホテルにまで成長した。創業以来約140年に亘ってフランクフルトの「First Lady」として君臨し、ヴィクトリア英国女王を始め各国の元首、王族に愛され、各界から著名人の訪問は今も途切れることはない。

世界のリーディングホテルから厳選
ホテルジャーナリスト
小原康裕 渾身の写真集

絶賛発売中

A4変型 フルカラー 128ページ
3,000円(本体価格)

www.obtapub.co.jp/worldhotel/

